

中国のニードルコークス（NC）市場はここに来て安定推移か

5月は、中国の上海宝鋼化工と江蘇省のシーケムは点検のため生産を停止したことなどで全般に、NCの生産量は少なく、価格は高めで推移していた。8月には錦州石化のNCの値段は69万円/トンまでになった。

これは、中国政府のインフラ整備政策に基づく鉄鋼需要の増大や地条鋼1億トン規模の低品位鉄生産設備の稼働禁止（実質の地条鋼生産量は3千～5千万トン/年）程度により、電気炉用の黒鉛電極の需要が急増したためである。

しかし、10月末からNCの値段は前月より5%～6%下がっている。これは、9月後半に山東益大が日産150トンの生産を回復したこと、山東京陽科技股份有限公司がNCを生産できるようになったことがある。また、10月中旬からは「暖房シーズン」の影響で、電極も含めた炭素材生産企業がNCなどの原料購入量が絞りこんでいることも影響している。さらには、11月には、上海宝鋼化工が毎月3,000トンを安定生産していることなども影響していると思われる。

海外製品の生産増による中国の輸入量増加も一因と考えられる。Phillips 66の輸入量は年間11万トン、韓国PMCの輸入量は2万トン以上と推定されており、NC値段の安定化に寄与していると思われる。

出所：ICC&百度新聞